

2010年1月26日

重要文化財明治生命館で「文化財防火デー」消防演習を実施 ～重要文化財の火災予防および保護を推進～

1月26日(火)の「文化財防火デー」に合わせ、東京消防庁 丸の内消防署(佐野 元康署長)による消防演習が、明治安田生命保険相互会社(執行役社長 松尾 憲治)「明治生命館」で実施されました。

なお、同演習は、1998年1月以降、2年毎に実施されており、今回が7回目となりますが、重要文化財の火災予防および保護推進を目的とした消防演習を、民間企業が日常業務に使用している建物で実施することは、大変珍しいことです。

当社は、今後とも近代の洋風建築を代表する歴史的建造物として重要文化財に指定されている「明治生命館」(別紙ご参照)の維持・保全に努めていきます。

<文化財消防演習実施内容>

1. 日 時

- ・1月26日(火) 午前10時～10時40分

2. 場 所

- ・丸の内 MY PLAZA 「明治生命館」日比谷通り側
東京都千代田区丸の内2丁目1番1号

3. 参加者等

- ・明治生命館および明治安田生命ビルテナント等 700名
- ・丸の内消防署(梯子車1台、ポンプ車2台、指揮隊車他1台) 18名
- ・丸の内消防団 10名

4. 訓練内容

- ・明治生命館B1階を出火場所と想定した、以下訓練を実施
消防訓練・避難訓練
(明治生命館テナント自衛消防隊による模擬消火・避難訓練)
救出訓練・放水訓練
(梯子車による8階職員の救出、放水車による日比谷通り側への放水)

○「明治生命館」について

1934年（昭和9年）に完成した明治生命館は、わが国近代洋風建築史上の代表作の一つに数えられ、1997年（平成9年）には、昭和期につくられた建造物としては初めて国の重要文化財に指定されました。

設計は、当時を代表する建築家8名による設計コンペを制した岡田信一郎（他の代表作品：歌舞伎座、日本銀行小樽支店等）。古典主義様式を採用したその威風は、明治以来の日本人建築家による西洋建築習熟の終着点に位置するものといわれ、また建造物全体の構想や設備の充実度から、昭和初期におけるオフィスビルディングの最高峰を示すものといわれています。

また、1945年（昭和20年）から1956年（昭和31年）までは米極東空軍司令部（EFAF）として接収されるなど、まさに昭和の激動を乗り越えてきた明治生命館には、そのすみずみまで時代の記憶が刻印されています。

今後も、丸の内の都市景観の形成と活性化に貢献するとともに、一般公開を通じて皆さまに重要文化財をより身近に親しんでいただきながら、明治生命館の維持・保存に努めていきます。

○重要文化財の指定

1997年（平成9年）3月21日、文部大臣の諮問機関である文化財保護審議会で答申が行われ、同5月29日、「大正から昭和初期の洋風意匠を取り入れた建築物を代表するもので、建物の意匠が内外とも優れている」（文部省告示第98号）との指定基準に基づいて「重要文化財」に指定されました。

○明治生命館の一般公開

重要文化財である明治生命館を、より広く親しんでいただくため、同館の1階、2階を一般公開しています。1階の丸の内お客さまご相談センターに加え、2階の執務室や戦後連合国軍最高司令官の諮問機関である対日理事会の会場としても使用された会議室など、文化的価値の高い主要室も見学いただけるようになっています。

<一般公開概要>

○ 公開日時：【毎週土・日曜】 11:00～17:00

ただし12月31日～1月3日およびビル電気設備定期点検日は休館

○ 入 館：無料

○ 公開場所：1階：丸の内お客さまご相談センター、2階：会議室、応接室、食堂等

○ お問い合わせ：明治安田ビルマネジメント丸の内センター 03（3283）9252

○「丸の内 MY PLAZA」について

1997年（平成9年）に昭和の建造物として初めて国の重要文化財に指定された明治生命館を全面保存のうえ、将来にわたって活用しつつ、その隣接地に事務所・商業施設の複合機能を持つ明治安田生命ビルを、歴史的な景観との調和を保ちながら建設するという、「保存」と「開発」の両立を図った街区再開発の愛称です。この街区で働く人はもちろん、この街区を利用するすべてのみなさまが、「私の（MY）広場（PLAZA）」として親しみをもち、楽しんでいただきたいとの願いを込めて、「丸の内 MY PLAZA」とネーミングしました。

<丸の内 MY PLAZA 概要>

所在地	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号	
敷地面積	11,346.78㎡（3432.40坪）	
延床面積	明治安田生命ビル 明治生命館	147,134.43㎡（44,508.17坪） 31,762.00㎡（9,608.01坪）
階数・高さ	明治安田生命ビル	明治生命館
	地上30階、地下4階、塔屋2階 最高高さ146.80m	地上8階、地下2階、塔屋1階 最高高さ36.00m
主な用途	事務所、ホール、貸会議室、店舗等	事務所、店舗等
駐車台数	292台	同左施設を共用
設計監理	三菱地所設計	竹中工務店・三菱地所設計
施工	竹中・大成共同企業体	竹中工務店

<ご参考>

○「文化財防火デー」について

1949年（昭和24年）1月26日早朝、奈良の法隆寺で、解体修理中の金堂が火災になり、白鳳時代（7世紀末から8世紀初期）に描かれた十二面壁画が焼損し、社会的に大きな衝撃を与えました。

その後も文化財の火災が発生したため、先人たちが残した文化財を守ろうという世論が高まり、1950年（昭和25年）に文化財保護法が制定され、1955年（昭和30年）からは、消防庁と文化庁の提唱により法隆寺金堂が焼損した日である1月26日を「文化財防火デー」とし、防火施設の点検と整備を行なうとともに、消防演習など文化財防火運動を全国で展開することとしました。

○ 訓練風景



以上